

2020年東京オリンピック・パラリンピック 競技大会に向けた相模原市の取組



澁水都市 さがみはら



相模原市 オリンピック・パラリンピック推進課

さがプロ2020の取組概要

相模原市では、2014(平成26)年1月に「2020 東京五輪・さがみはらプロジェクト推進本部」(さがプロ2020)を設置し、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた取組を推進中

歴史・経過等

1964(昭和39)年東京大会	相模湖をカヌー競技の会場として使用
2013(平成25)年9月	2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京に決定
2014(平成26)年1月	大会に向けて全市を挙げた取組を推進するため、2020東京五輪・さがみはらプロジェクト推進本部(さがプロ2020)を設置
2015(平成27)年2月	「さがプロ2020基本方針」の策定
2015(平成27)年度～	事前キャンプの誘致に係る視察受入れ、市内イベントへの普及啓発ブースの出展、訪日外国人おもてなし講座の開催 等



(1964年大会時の相模湖)



(事前キャンプの視察受入れ)



(普及啓発ブース(全体))



(普及啓発ブース(缶バッジ作成))



(訪日外国人おもてなし講座)

さがプロ2020の取組概要

近年の動き

2017(平成29)年 6月	ブラジルオリンピック委員会等と事前キャンプに関する覚書を締結 (さがみはらグリーンプール、相模原ギオンスタジアム、総合体育館)
12月	ブラジルのホストタウンとして登録
2018(平成30)年 1月	カナダボート協会等と事前キャンプに関する覚書の締結 (県立相模湖漕艇場)
4月	カナダのホストタウンとして登録

【事前キャンプ】海外の選手が、本大会により近い気象条件や環境下において、コンディション調整やパフォーマンス向上を目的に行うもの
(大会前に概ね2～3週間程度実施)



ブラジル・カナダの事前キャンプ受入れの概要

ブラジル連邦共和国

平成27年以降、ブラジルオリンピック委員会等による5回の視察を経て決定
ブラジルオリンピック委員会は、さがみはらグリーンプール、相模原ギオンスタジアム及び総合体育館を高く評価

実施競技

【相模原ギオンスタジアム】

- ・女子サッカー

【さがみはらグリーンプール】

- ・競泳 ・飛込 ・アーティスティックスイミング（シンクロナイズドスイミング）

【総合体育館】

- ・女子バレーボール ・バドミントン ・フェンシング

等

カナダ

平成28年以降、カナダオリンピック委員会及びカナダボート協会による4回の視察を経て決定

相模湖は1964年に開催された東京オリンピック競技大会におけるカヌー競技の本会場

実施競技

【神奈川県立相模湖漕艇場】

- ・ボート

平成30年度の相模原市の取組

本市のスポーツ振興や大会機運の醸成等に寄与する取組として、ブラジル選手団のテストキャンプの受入れやホストタウン交流事業等を推進中

主な取組

ブラジル選手団のテストキャンプの受入れ	日本で開催される国際大会に出場するブラジル選手団のキャンプを受け入れるとともに、市民との交流を実施する。 《水泳》7/30から8/10まで (実施済) 《女子バレーボール》9/21から9/27まで (実施済)
ホストタウン交流事業の実施	ブラジル・カナダのホストタウンとして、市民とブラジル人・カナダ人との交流事業や青少年派遣交流事業に取り組む。
選手村整備に対する津久井産材の提供	大会組織委員会が全国展開している「日本の木材活用リレー～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」に参加し、必要な木材提供等を行う。
パラスポーツや障害者スポーツに係るイベントの開催	共生社会の実現に向けて障害者理解の促進等を図るため、パラスポーツの競技体験等が行えるイベントを開催する。
大会や本市の取組に係る普及啓発の実施	各区イベント等においてオリンピック・パラリンピックに関する啓発を行い、市民の大会に対する機運醸成を図る。

2020年東京オリンピック競技大会 自転車ロードレース競技について

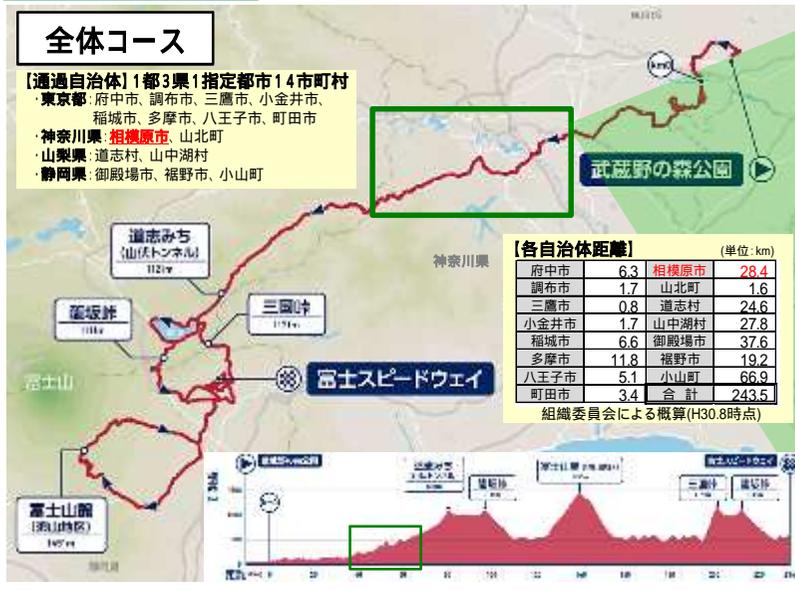
競技日程等

競技日程	男子	2020年7月25日(土) 午前11時~午後6時15分 総距離: 約244km、獲得標高: 約4,865m、参加選手数: 130名程度	【参考】 開会式: 7月24日(金)
	女子	2020年7月26日(日) 午後1時~午後5時35分 総距離: 約147km、獲得標高: 約2,692m、参加選手数: 70名程度	
競技会場	スタート	武蔵野の森公園(東京都 府中市・調布市・三鷹市)	【オリンピック自転車ロードレース競技について】 一般の公道を使用して全選手が一斉にスタートし、ゴールへの着順を競う。 メダルは個人に対して与えられるが、各国には1名から5名の出場枠が割り当てられ、中心選手をより高い順位にするため、組織プレーが行われる。 男子の場合、一般的におおむね250キロメートルの距離を走り、走行時間は5~6時間、平均時速50キロメートル弱のスピードで通過。
	ゴール	富士スピードウェイ(静岡県 小山町)	
試走等 (調整中)	ドレスリハーサル(式典運営・中継等): 7月20日(月) 又は21日(火)		
テストイベント	2019年7月21日(日) 正午から午後5時15分 【主なテスト項目】 競技エリア(コースを含む。)、計測機器、スタッフ運営等		

競技コース

全体コース

【通過自治体】1都3県1指定都市14市町村
 ・東京都: 府中市、調布市、三鷹市、小金井市、稲城市、多摩市、八王子市、町田市
 ・神奈川県: 相模原市、山北町
 ・山梨県: 道志村、山中湖村
 ・静岡県: 御殿場市、裾野市、小山町



市内コース

2020年東京オリンピック競技大会
相模原に自転車ロードレースがやってくる!!



自転車ロードレース（テストイベント）のコースサポーター募集中

コースサポーターとは、自転車ロードレース競技の開催に当たり、コース沿道において大会運営のサポート（資器材の設置・撤去、観戦者・一般観客の整理・誘導 等）をするボランティアです。

相模原市の募集状況

	2019年テストイベント コースサポーター	2020年大会 コースサポーター
募集人数	700人程度 応募者多数の場合は配置計画を考慮し調整	2020年の大会時におけるコースサポーターについては、テストイベント終了後、改めて募集する予定です。
活動日・時間	2019年7月21日(日) 4時間程度	
活動場所	相模原市内の競技コース及びその周辺	
活動内容	資器材設置、撤去等のサポート 観戦者、歩行者等の整理・案内 等	
応募条件	○2004年(平成16年)4月1日以前に生まれた方 ○日本国籍を有する方又は日本に居住する資格を有する方	
応募期間	2019年1月15日(火)～3月29日(金)午後5時まで	
応募方法	電子申請、郵送、ファクシミリ又は直接提出	

2020年東京オリンピック競技大会 自転車ロードレース競技の実施に伴う相模原市の取組

(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と協力しながら**競技実施に向けた準備を着実に進める**ほか、相模原市の魅力等を戦略的に活用・PRしながら**大会時における盛り上げや大会後のレガシーの創出**(スポーツ・観光振興、シティセールス等)に向けて取り組む。

組織委員会からの協力要請への対応に係る調整

競技実施に係る広報及び周知(協力依頼を含む。)
通常行政サービスの範囲内における道路補修、
メンテナンス及び清掃
コースサポーターの募集及び管理
競技運営等に必要スペースの提供
道路通行規制に対応した救急体制の検討及び
競技車列への救急車の帯同

等

競技実施を契機とした市独自の取組の検討

大会前における機運醸成・コースPR
(自転車ロードレースイベントの実施を含む。)
大会時における盛り上げ
大会後のレガシー(ハード・ソフト)につながる取組

【相模原市の主な「強み」】

- ・多様な自転車走行環境(市街地・山間部)
- ・市内に活動拠点を有するプロサイクルチーム(Team UKYO) 等



Team UKYO

(2017年 Team UKYO 畑中選手 全日本優勝報告)

想定レガシー & 取組イメージ

【レガシー】自転車ロードレース競技の普及

国際自転車ロードレース大会の市内誘致
有力選手等による体験会、講演会等の開催
地域密着型プロサイクルチームの発掘
イベントスポンサー・ボランティア体制の構築 等

【レガシー】サイクルツーリズムの推進

オリンピック使用コースとしての観光PR
サイクル利便施設・設備の整備に向けた検討
レンタサイクル(ロードバイク)の実施
コース沿道における軽食・土産品の開発 等